

## 競技団体・地域スポーツ団体における現状と課題

(公財) 京都府スポーツ協会

### 1 現 状

- 地域団体において、行政との関係が希薄になりつつある。
- どの団体も会場確保に苦慮している。府立施設の優先使用の希望が多い。
- 組織の形骸化・高齢化が進んでいる。
- 総合型クラブは社会的認知度が低迷（知らない約7割）

### 2 課 題

- (1) 少年スポーツクラブと地域が連携できていない。
- (2) 幼児期から小学生年代が自発的に運動を取り組める機会が少ない。
- (3) 地域スポーツ団体への帰属メリットが意識されにくい。
- (4) 京都府における「ご当地スポーツ」の存続が危ぶまれている。  
(子どもの人数減少等による)
- (5) 行政やスポーツ協会として把握できないクラブの掌握が必要。
- (6) クラブ運営スタッフ、指導者等の人材不足や活動場所・財源確保が喫緊の課題である。

### 3 今後の方向性

- 公的機関と住民組織や民間団体等が、地域スポーツの支援の在り方について学び、多方面からサポートする機能強化を図る。
- 地域スポーツの中で、活動場所を確保するとともに各自治体の関係者（団体）との連携を強化する必要がある。

(別表1) 【スポーツ少年団：当該競技種目を行っているところ】 \*令和5年度スポーツ少年団年表より

競技種目	活動している地域	団員数
合気道	木津川市	13人
ホッケー	京丹波町	22人
トランポリン	長岡京市	16人
バドミントン	八幡市	33人
新体操	京田辺市・大山崎町	68人・29人
テニス	宇治市・長岡京市	10人・14人
ソフトテニス	八幡市・亀岡市	34人・35人
柔道	八幡市・舞鶴市	50人・42人
ラグビー	木津川市・八幡市・福知山市	51人・18人・41人
ソフトボール	宇治市・城陽市・長岡京市・木津川市	11人・8人・12人・23人
ドッジボール	亀岡市・木津川市・大山崎町	14人・21人・18人

(別表2) 【少年スポーツクラブ：当該地域で1つだけ活動しているもの】

市町村別（地域）	種目・競技（会員数）
大山崎町 <sup>注</sup>	ソフトボール（18）、ドッジボール（12）、エアロビクス（18）、フェンシング（30）
城陽市	ソフトテニス（12）、陸上競技（28）、卓球（37）、バドミントン（10） 少林寺拳法（11）
木津川市 <sup>注</sup>	なぎなた（14）
久御山町	バドミントン（19）、サッカー（21）、剣道（14）
宇治田原町	軟式野球（8）、バスケットボール（30）、サッカー（30）、剣道（12）
精華町	軟式野球（41）、ソフトテニス（27）、バスケットボール（14）、剣道（45） 体操・新体操（34）、ドッジボール（24）
相楽東部広域連合	軟式野球（10）、サッカー（13）、
綾部市 <sup>注</sup>	ボウリング（25）、スキー（39）、柔道（10）、空手（45）
伊根町	サッカー（20）、バレーボール（3）、陸上競技（8）
京丹後市	少林寺拳法（14）、カヌー（11）、スキー（3）レスリング（19）

注）大山崎町、木津川市と綾部市はスポーツクラブ

(別表3) 【市町村別スポーツクラブ数】(R5.3.31現在) \*別表2・3は京都府の体育・スポーツより

	クラブ数	(比率)	会員数	(比率)
スポーツ少年団	*293	(8.6%)	*6,731	(10.8%)
総合型クラブ	*27	(0.8%)	*807	(1.3%)
少年スポーツクラブ	291	(8.5%)	5,801	(9.3%)
既存クラブ	2,795	(82.0%)	49,144	(78.7%)
総計	3,406		62,483	

\*京都市除く